

事業の背景・目的

本事業は福島県会津地方にて生息が報告されてから145年ぶりに、磐梯町内で確認されたカワシンジュガイの生息環境の保全と個体数回復を図ることを目的として活動を行っている。カワシンジュガイの生息地を保全するとともに、個体群の回復が急務であると考え、地元住民への理解促進等を含めた中・長期的な保全・回復計画を作成し実行していくことを目指している。



事業の内容

ア 分布状況調査事業
町内の生息状況を確認するために、既存の生息水系を中心に調査を実施。加えて、調査地の絞り込みを行うために実施した環境DNA調査の結果をもとに重点的な潜水調査を実施。

イ 保全・回復計画作成事業
保全・回復に向けて、磐梯町における繁殖時期等の特定を行うため、繁殖試験を実施。繁殖状況等の記録を行うために、水中カメラを用いて、映像の撮影も試みた。
（右の写真は繁殖試験用の飼育ボックスの中の様子。）



ウ 普及啓発事業
保全に向けた機運を醸成するために町民等に向けた講演会等を実施



得られた成果

ア 分布状況調査事業
令和5年度から環境DNA調査を含めて、磐梯町内全域での生息状況調査を実施してきた。今年度においては、環境DNA調査により生息の可能性が示唆された2か所について、内藤先生にもご協力をいただき集中的に現地調査を行ったが、個体を発見することはできなかった。

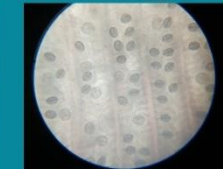
イ 保全・回復計画作成事業
磐梯町のカワシンジュガイが5/20前後をピークにグロキディウム幼生を放出していたこと、ヤマメが宿主となり幼生が成長していたこと、6月中旬に宿主から落下し始め底生生活に入ることが明らかになった。

5/22 繁殖試験での写真

死亡したヤマメ



ヤマメのエラに寄生したグロキディウム幼生



※磐梯町教育委員会の許可を得て試験をしてい

ウ 普及啓発事業

- 町民に向けて講演会を1回
- ポスター等の掲示を2回
- NHK福島で5分程度の特番放送（講演会で取材を受ける参加者）

